

(2) 関西大学新キャンパス構想

(2) - 1 関西大学進出にかかる経済効果

調査概要

目的

高槻市は、第4次高槻市総合計画 たかつきリーディングプランの1つである「いきいき学園まちづくりプラン」において、市内の大学は貴重な資源であり、市民の財産であることから、大学と地域との連携により、都市文化の振興とまちの活性化を図ることとしている。

一方、関西大学はJR高槻駅北東地区に「関西大学新キャンパス構想」を平成17年2月7日に表明し、その主な内容は、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院、生涯学習センターの設置のほか、コンベンションホール、図書館、体育館（講堂）、レストラン、プールに加え、防災センターや防災用備蓄庫などの施設が入る2棟方式の校舎棟と、体育・厚生棟からなるものである。

そこで、本業務は、関西大学が表明しているJR高槻駅前への進出により、高槻市に与える経済効果を算出し、分析することによって関西大学支援策検討の際の客観的な資料を作成することを目的としている。

方法及び内容

直接効果の算出

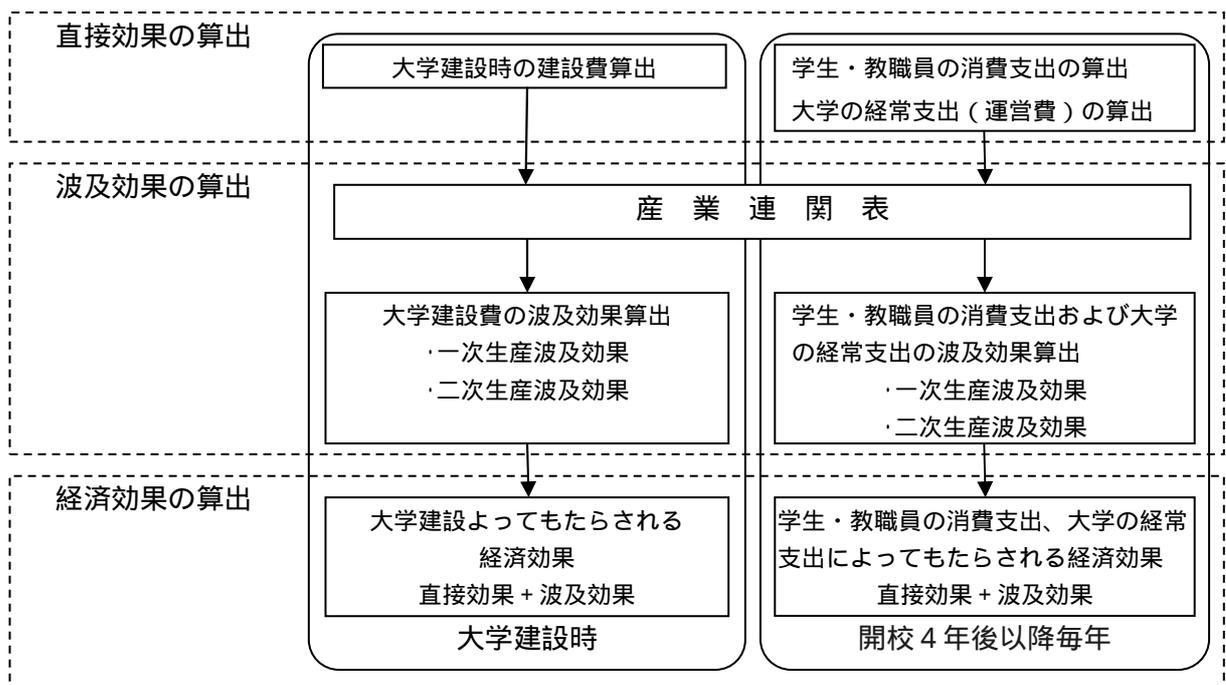
高槻市に与える効果が大きいと思われる「大学建設時の建設費用」、「学生及び教職員の消費支出」、「大学の経常支出（運営費）」について積み上げ方式等で直接効果を算出する。

波及効果の算出

大学建設時の「建設費」、及び、完成年次より毎年支出される「学生・教職員の消費支出、大学の経常支出」について産業連関表（取引基本表）を用いて波及効果（一次生産波及効果、二次生産波及効果）を算出する。

経済効果の算出

それぞれの直接効果と波及効果を合計して、「大学建設によってもたらされる経済効果」（大学建設時）と、「学生・教職員の消費支出、大学の経常支出によってもたらされる経済効果」（開校4年後以降毎年）を算出する。



経済効果算出の手順

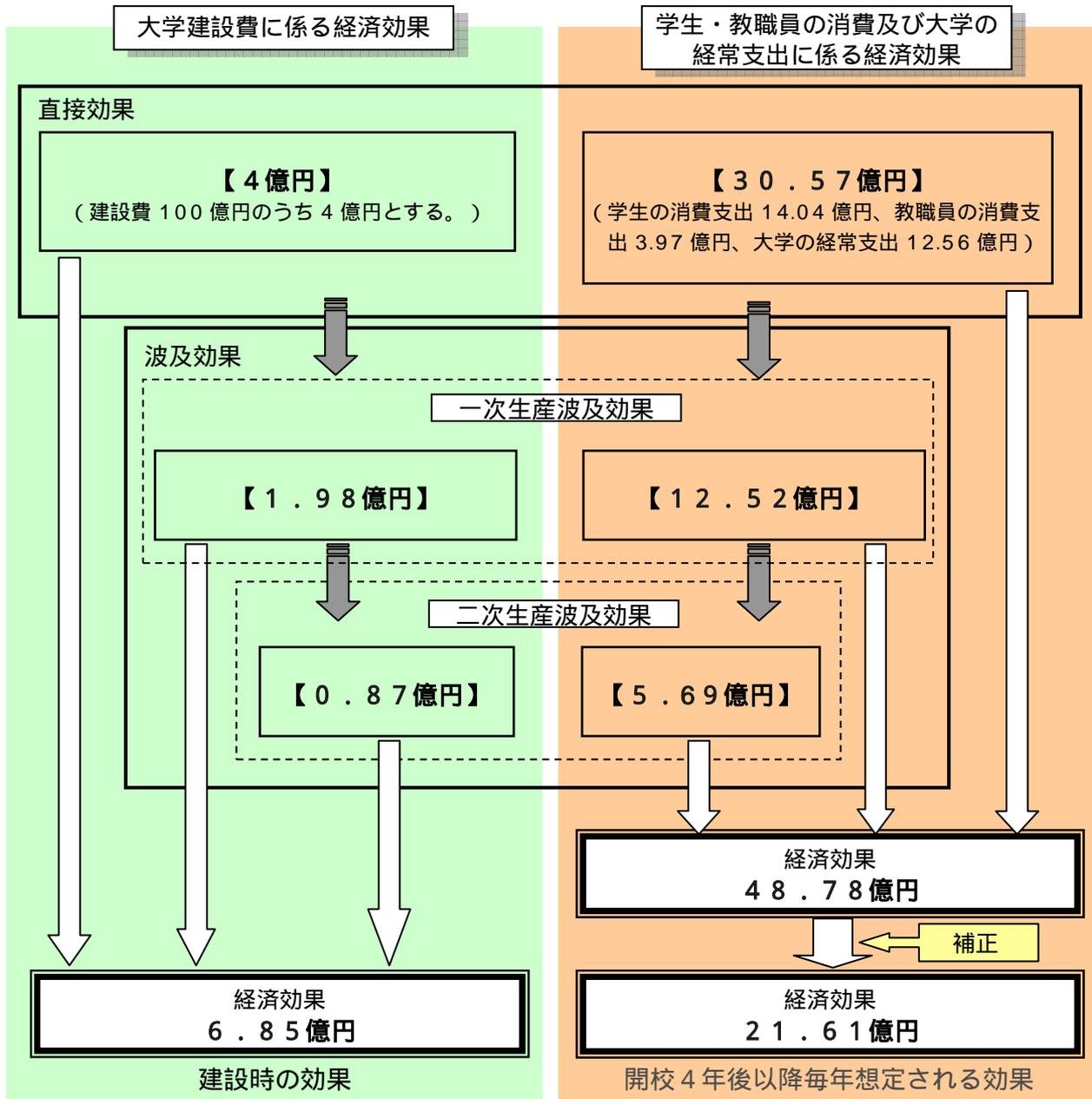
調査結果

大学立地に伴う経済効果として、大学建設費、学生・教職員の消費支出及び大学の経常支出について直接効果を算出し、産業連関表を用いて波及効果を算出した。

大学建設に関する直接効果は、消費の大部分が高槻市外であると考え、建設費想定約 100 億円のうち約 4 億円を直接効果として算出すると、約 2.85 億円の波及効果が見込まれ、経済効果は約 6.85 億円（建設時）となる。

学生・教職員の消費及び大学の経常支出に関する直接効果は、約 30.57 億円（学生の消費支出約 14.04 億円、教職員の消費支出約 3.97 億円、大学の経常支出約 12.56 億円）を想定する。学生や教職員が約 2,400 人増えることで、毎年、約 30.57 億円の消費や投資が起こり、約 18.21 億円の波及効果が見込まれるため、年間、約 48.78 億円の経済効果が得られることとなる。

ここで、高槻市に対する学生・教職員の消費及び大学の経常支出に関する経済効果は、高槻市の産業連関表がないため、推測するのは困難であるが、1つの目安として、学生の各消費項目における支出割合から現総合情報学部の生徒の構成を参考に補正（44.3%）すると、年間の経済効果は、約 21.61 億円と推測される。したがって、学生などの動向により、経済効果に幅が出てくるものと考えられる。



関西大学進出に係る経済効果

【参考】

経済効果の補正率の推定について

経済効果は、直接効果と波及効果を合算したものであるが、本市への直接的経済効果を考えたとき、一定の補正が必要であると考え。その結果、高槻市における消費割合(補正率)は44.3%と推定したが、根拠は下記のとおりである。

(1) 大学生・大学院生の消費支出割合の想定(高槻市内及び市外)

下記の表中は、資料の表2-2学生の消費支出(関西大学、平成15年度学生生活実態調査報告書より)より、自宅生および下宿生の割合を参考に1人当たりの1ヶ月平均消費額(表2-3)を推定したものである。

そこで、を100%としたとき、各消費項目において、高槻市内および高槻市外に分け、各々の支出割合を想定した結果、の割合となった。

(円・%)

大学生・大学院生	1人当たりの 1ヶ月平均消費額	高槻市内 在住者	想定割合	高槻市外 在住者	想定割合
食費	15,727	12,581	80%	6,291	40%
住居費	16,099	16,099	100%	0	0%
日常費(衣料、化粧品等)	13,371	6,686	50%	3,343	25%
勉学・図書費	5,302	5,302	100%	4,241	80%
娯楽・レジャー交際費	14,009	7,005	50%	3,502	25%
通信費(携帯電話等)	7,743	7,743	100%	0	0%
クラブ活動費	6,322	6,322	100%	6,322	100%
貯金・ローン返済	22,145	22,145	100%	11,072	50%
合計	100,717	83,881		34,771	
	割合(%)	83.3		34.5	

(2) 関西大学高槻キャンパス(総合情報学部)の生徒構成

高槻市内の関西大学高槻キャンパス(総合情報学部)の生徒数及び内訳は、下表のとおりであり、この生徒の構成を参考とする。

(人)

年次	生徒数
1回生	544
2回生	602
3回生	593
4回生	646
全生徒数	2,385
高槻市内在住者	478
高槻市外在住者	1,907

(3) 高槻市における消費割合(補正率)の推定

上記(1)及び(2)で得られた値をもとに、加重平均を算定し、補正率とした。

$$\begin{aligned}
 \text{補正率} &= (\quad \times \quad / \quad) + (\quad \times \quad / \quad) \\
 &= (83.3\% \times 478 / 2,385) + (34.5\% \times 1,907 / 2,385) \\
 &= \underline{44.3\%}
 \end{aligned}$$